

# 黄河

 (愛称)

正式名称：日興AM中国A株ファンド

## ファンドの概要

設定日 2005年2月28日  
 信託期間 無期限  
 決算日 毎年9月21日  
 (休業日の場合は翌営業日)  
 分配時期 決算日毎

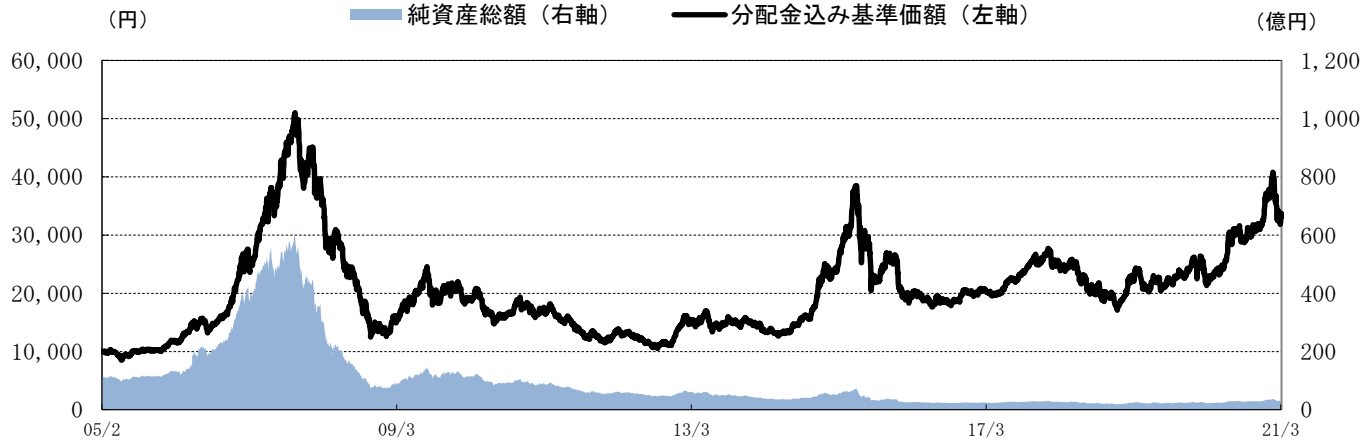
## ファンドの特色

1. QFII制度を利用して、中華人民共和国（以下「中国」）企業の人民元建株式に直接投資します。
2. 上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資します。
3. 日興アセットマネジメント アジア リミテッドがマザーファンドの運用を行ないます。

## 運用実績

※当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

### <基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額は、信託報酬控除後の値です。  
 ※信託報酬は、後述の「手数料等の概要」をご参照下さい。  
 ※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

基準価額 : 33,552円  
 純資産総額 : 30.62億円

### <資産構成比率>

株式	96.9%
うち先物	0.0%
現金その他	3.1%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

### <基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-8.73%	3.99%	16.43%	53.92%	39.14%	236.99%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

### <基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	36,761円
株式等要因	-3,974円
為替要因	839円
分配金・その他	-73円
当月末基準価額	33,552円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

### <分配金実績（税引前・1万口当たり）>

設定来合計	2016/9/21	2017/9/21	2018/9/21	2019/9/24	2020/9/23
100円	0円	0円	0円	0円	0円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## &lt;通貨別投資比率&gt;

	通貨	比率
1	人民元	86.6%
2	香港ドル	8.7%
3	オフショア人民元	4.5%
4		
5		
6		

## &lt;上場市場別組入比率&gt;

	上場市場	比率
深セン市場	メインボード	40.0%
	中小企業板	12.6%
	創業板	16.4%
		11.1%
上海市場	メインボード	50.5%
	科創板	44.6%
		5.8%
香港市場		7.9%
その他市場		0.0%

## &lt;組入上位10業種&gt;

	業種	比率
1	銀行	18.9%
2	素材	14.4%
3	食品・飲料・タバコ	10.8%
4	テクノロジー・ハードウェア	9.5%
5	医薬品・バイオテクノロジー	7.7%
6	資本財	7.5%
7	耐久消費財・アパレル	7.0%
8	半導体・半導体製造装置	6.0%
9	保険	5.2%
10	各種金融	5.0%

※業種分類は当社の分類によるものです。

## &lt;組入上位10銘柄&gt; (銘柄数: 55銘柄)

	銘柄名	通貨	上場市場	業種	比率	
1	CHINA MERCHANTS BANK-A マーチャント・バンク	中国元	上海市場	メインボード	銀行	5.99%
2	PING AN INSURANCE GROUP CO-A ピンアン・インシュアランス	中国元	上海市場	メインボード	保険	4.19%
3	INDUSTRIAL BANK CO LTD-A インダストリアル・バンク	中国元	上海市場	メインボード	銀行	4.14%
4	SANY HEAVY INDUSTRY CO LTD-A サンイー・ヘビー・インダストリー	中国元	上海市場	メインボード	資本財	3.59%
5	KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A グイチョウ・マオタイ	中国元	上海市場	メインボード	食品・飲料・タバコ	3.19%
6	CHONGQING ZHIFEI BIOLOGICA-A チョンチン・ジーフェイ・バイオロジカル	中国元	深セン市場	創業板	医薬品・バイオテクノロジー	2.98%
7	LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A ロンギ・グリーン・エナジー	中国元	上海市場	メインボード	半導体・半導体製造装置	2.85%
8	TONGWEI CO LTD-A トンウェイ	中国元	上海市場	メインボード	食品・飲料・タバコ	2.82%
9	CITIC SECURITIES CO-A SHARES-A CITICセキユリティーズ	中国元	上海市場	メインボード	各種金融	2.63%
10	HAIER SMART HOME CO LTD-A ハイアール・スマートホーム	中国元	上海市場	メインボード	耐久消費財・アパレル	2.56%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※2018年10月31日現在よりISINコードで銘柄を統合した表記にしています。

## &lt;規模別構成比率&gt;

	時価総額	比率
大型株 (1兆円以上)		71.8%
中型株 (3,000億円以上1兆円未満)		18.1%
小型株 (3,000億円未満)		8.5%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

3月の中国A株市場は、月初から最終週まで下落基調が続き、月末にかけてはやや持ち直しましたが前月末比で大きく下落しました。中国の財政・金融政策の正常化が意識されたことや、米国による対中規制の強化などからセンチメントが悪化し、市場は春節（旧正月）明けから下落しましたが、市場構造の再編と決算期待などを受けて月末にかけてはやや反発に転じました。セクター別では、蒸留酒や、ヘルスケア、業界を牽引する銘柄などのアウトパフォーマンスを続けてきた銘柄群が月の前半に大きく売られました。後半にかけては買い戻されました。A株市場のファンダメンタルズは引き続き改善しており市場流動性にも大きな変化はありませんでした。また、企業決算は概ね市場予想通りとなりましたが、一方で、中国の投資家はコロナ禍後の新しい日常を想定しており、好調な銘柄を利食い出遅れ銘柄へシフトを進めるなどのポジションの調整がみられました。

セクターおよび主要業種別では、建設や建材、鉱業、運輸などの景気循環株が好調となる一方で、機械や、保険、証券などはふるいませんでした。テクノロジー、メディア、通信関連株はまちまちの動きとなり、太陽光発電、電気自動車、テクノロジー関連は大きく下落した後、大きく反発しました。

中国人民元は対円で上昇しました。中国経済はファンダメンタルズが引き続き堅調で、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）に対する耐性を示しているといえます。月末に発表された購買担当者景気指数（PMI）は評価される内容で、製造業および非製造業ともに市場予想を上回り、向こう数ヶ月の経済成長が好調なものとなることを示唆しています。

## ◎運用概況

当月ファンドの基準価額は、中国の財政・金融政策の引き締め懸念や米中対立の深刻化などが警戒されて年初来の上昇が一服となる中で、前月末比で大きく下落しました。また、市場の調整や保有銘柄への利益確定圧力などから当月もファンドのパフォーマンスはふるいませんでした。主に、オーバーウェイトとしているニューエコノミー関連のポジションが月の前半に振るわず、マイナスに寄与しました。

当月ポートフォリオでは、主にヘルスケアや食品・飲料の高バリュエーション株の利益確定を進め、建材や、化学品、家電関連の出遅れ株へシフトしました。また、見通しが明るいと予想するニューエコノミー関連株へ、市場が調整する中で積み増しを行いました。

## ◎今後の見通し

当ファンドでは、3月の市場の調整を経た中国A株市場の見通しについて強気の見方に転じました。急激な調整を終えてA株市場は地固めの段階に入ると考えられ、その後、再び上昇を続けると予想しています。また、景気回復に伴って上場企業の業績も今後数四半期に亘って改善を続けるとみられます。第1四半期決算は予想を若干上回ると期待しており、その後も強い利益成長モメンタムが続くでしょう。新型コロナウイルスのパンデミック後、中国経済は通常の成長ペースへ回復して中国企業はより大きなグローバル・シェアを獲得し、より高い利益率を享受すると考えています。市場では調整を経てバリュエーション面で魅力的な銘柄が増えているとみられます。業界を牽引する数銘柄は長期的に買い持ちする価値があると考え、今後はボトムアップ戦略を優先した銘柄選択が市場の地固め局面でアウトパフォーマンスする鍵になるとみています。

こうした見通しの下、当ファンドでは市場動向に沿ったリバランスを続ける方針です。ファンドでは消費と製造業の高度化に関連する銘柄を引き続き選好していますが、その一部は市場の調整を経てもなお割高水準にあります。よって、金融や景気循環セクターの割安銘柄と、主に電気自動車や、太陽光発電、先端製造業などのニューエコノミー関連の高バリュエーション銘柄をオーバーウェイトとするバーベル戦略を維持する方針です。また、第1四半期決算に焦点を当てて業績サプライズのある銘柄の選定を進める予定です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

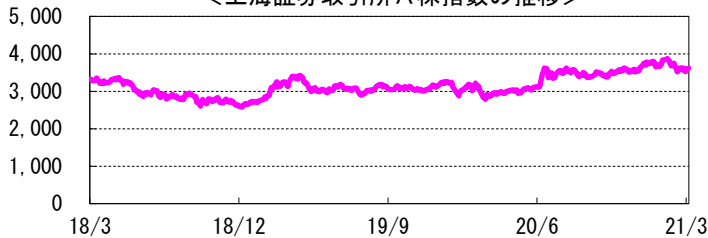
ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入を保証するものでもありません。  
 ※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

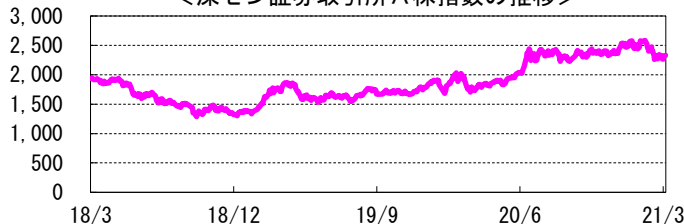
<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 CHINA MERCHANTS BANK-A / マーチャント・バンク / 招商銀行
商業銀行。預金業務、融資、資産管理、資産カストディ、金融リース、投資銀行業務、およびその他の銀行サービスを提供する。中国内外で事業を展開。
2 PING AN INSURANCE GROUP CO-A / ピンアン・インシュアランス / 中国平安保険
中国の大手保険会社。また、不動産保険、損害保険も手掛ける。銀行、フィンテックへも参入。
3 INDUSTRIAL BANK CO LTD-A / インダストリアル・バンク / 興業銀行
銀行。預金、貸出、資産運用、外貨管理、その他のサービスを提供する。個人、法人およびその他の顧客向けに事業を展開。
4 SANY HEAVY INDUSTRY CO LTD-A / サンイー・ヘビー・インダストリー / 三一重工
建設機械、土木機械、その他関連部品を製造・販売する。製品には、コンクリートポンプ、コンクリートポンプ車、ロードローラー、舗装機械などが含まれる。
5 KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A / グイチョウ・マオタイ / 貴州茅台酒
中国最高級酒の代名詞「茅台（マオタイ）酒」を生産する蒸留酒メーカー。高い利益率、力強い成長と圧倒的なブランドネームで、長期にわたり中国市場を代表する銘柄。
6 CHONGQING ZHIFEI BIOLOGICA-A / チョンチン・ジーフェイ・バイオロジカル / 重慶智飛生物製品
医薬品メーカー。予防・血液製品、診断試薬および治療薬を含む、ワクチンおよびバイオ製品の研究、製造、販売を手掛ける。政府系研究所と共同で新型コロナウイルス対応ワクチンの開発も進める。
7 LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A / ロンギ・グリーン・エナジー / 隆基緑能科技
中国のソーラー向けシリコンメーカー大手。主に6インチ、6.5インチ、8インチの単結晶シリコン材棒およびシリコンウエハーの開発、製造、販売を手掛ける。
8 TONGWEI CO LTD-A / トンウェイ / 通威
畜産・水産事業と太陽光エネルギーが事業の2本柱。畜産・水産事業は、主に水産物向けの飼料製造を中心に、養殖や販売も手掛ける。太陽光エネルギー事業は、多結晶シリコンと太陽電池が主力製品。
9 CITIC SECURITIES CO-A SHARES-A / C I T I Cセキュリティーズ / 中信証券
証券会社。証券仲介・取引・引受などのサービスのほか、投資銀行、資産運用、投資コンサルティングなども手掛ける。
10 HAIER SMART HOME CO LTD-A / ハイアール・スマートホーム / 海爾智家
ハイアールブランドで各種白物家電を生産。特に洗濯機及び冷蔵庫に強み。三洋電機の白物家電事業やGEの家電事業などを買収して業容を拡大、IoTによる「スマートホーム」事業に注力中。

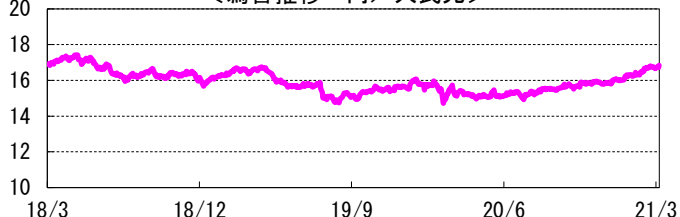
<上海証券取引所A株指数の推移>



<深セン証券取引所A株指数の推移>



<為替推移 円/人民元>



(出所：各種資料を基に日興アセットマネジメントが作成)

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



**■お申込みメモ**

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2005年2月28日設定）
決算日	毎年9月21日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・上海証券取引所の休業日 ・深セン証券取引所の休業日 ・中国の銀行休業日 ・購入・換金の申込受付日から起算して7営業日目までの期間中に、上海証券取引所の休業日、深セン証券取引所の休業日または中国の銀行休業日が2日以上ある場合
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

**■手数料等の概要**

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）</u> 以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.3%</u> <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率2.31%（税抜2.1%）</u>
その他の費用・手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

**■委託会社、その他関係法人**

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド
受託会社	みずほ信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.nikkoam.com/">www.nikkoam.com/</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

- ・投資者の皆様は、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様にご帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

## 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## 為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
- ・中国の証券市場および証券投資に関する枠組み（決済システムなど市場インフラを含みます。）には、様々な制限および制約があります。これらの制限および制約は、大部分が中国証券監督管理委員会（CSRC）および国家外貨管理局（SAFE）の裁量によって行なわれます。海外からの投資規制や海外への送金規制など種々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更などによる新たな規制が設けられた場合には、ファンドにおいて換金代金等の支払いが遅延したり、投資対象市場に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。
- ・上海や深センのストックコネク（株式相互取引制度）を通じた中国A株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネク特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクにおける取引通貨はオフショア人民元となり、QFII制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○		○
株式会社SMB C信託銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入	登録金融機関	関東財務局長（登金）第653号	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。